

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①厚真未来カレッジ開校
- ②図書フェスティバル/厚真町文化祭/児童生徒芸術等鑑賞会
- ③第59回北海道文化財保護功労者賞/令和5年度厚真町教育委員会表彰式/令和5年度二十歳のつどい開催について
- ④全国学力・学習状況調査 結果公表/10月定例教育委員会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動報告

世界で活躍する熱中人に学ぶ アツカレー厚真未来カレッジ開校

教育委員会では、多彩な講師を厚真町に招き、その人が人生をかけて追及してきた分野の面白さや、苦勞、チャレンジのプロセスについて話を聞く「厚真未来カレッジ」を開校しました。この取組は、昨年度開催したあつひやくミーティング（下記参照）の中で、「世界や社会全体を視野に入れて活動する方の話を聞かせてあげたい」という意見が出されたことを受けて実現しました。



特別教室の様子

記念すべき第1回は、11月11日（土）、元サッカー日本代表の那須大亮さん、ファッションブランドディレクター渡邊俊介さんを招き、小中学生を対象にしたサッカー教室、特別対談を実施し、町内外から延べ80人の参加がありました。特別教室や対談の中で、「サッカーは必ず勝敗があるが、勝ちも負けも楽しんでほしい」「物事を始めることに遅いということはない、強い意志を持ち、目標に向かって取り組んでほしい」など、二人から心のこもったメッセージが聞かれ、充実した1日となりました。



特別対談の様子

4,300人の厚真町で世界と出会う

あつひやくミーティングとは？

厚真町で育つ子どもたちが、どんな学びや経験をしてほしいかを町民全体で考えていこうという取組です。昨年度は3回実施し、延べ90人が参加し、厚真で育つ子どもたちへの思いや願いのほか、実現できそうな学びのアイデア出しなどを行いました。そのアイデアを下記のとおり、「厚真で育んでほしい10個の力」にまとめました。あつひやくミーティングは、今年度も実施予定ですので、皆さん、ぜひご参加ください。

【厚真で育んでほしい10個の力】

- ① わんぱく力
- ② 夢描き力
- ③ 探究・解決力
- ④ ワクワク力
- ⑤ まずやってみる力
- ⑥ 伝える・つながる力
- ⑦ 生活力
- ⑧ 五感力
- ⑨ リサーチ力
- ⑩ 試行錯誤・アップデート力

【第2回厚真未来カレッジ】

特別講義「ブラックホールの神秘に迫る」

日 時 令和5年12月23日（土）

18時00分～19時30分

場 所 厚真町総合福祉センター

講 師 国立天文台教授 本間 希樹 氏

※2019年人類は初めてブラックホールの撮影に成功。本間先生は、世界中の天文学者が集うプロジェクトで日本チームの代表を務めました。

対 象 どなたでも参加できます

申込み 下記QRコードからお申込みください。なお、電話でも申込み可能です。

【問合せ】

社会教育グループ

☎0145-27-2495



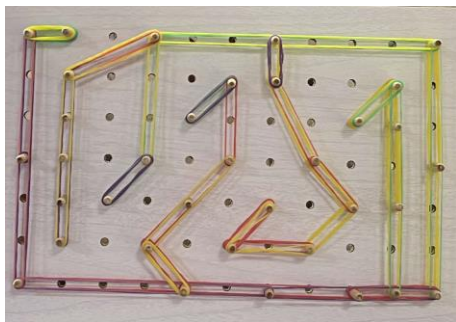
図書フェスティバル



11月3日(金)文化の日に、青少年センターを会場に図書フェスティバルを開催しました。今年度は、より多くの人に図書室を利用いただけるように、図書室の通常利用も可能な状態での開催となりました。

今回は、リサイクル本の配布やコロコロ迷路の工作といった、6つのコーナーが開催され、約100人の方の来場がありました。コロコロ迷路の工作では、材料として輪ゴム、ボード、木製タボを使用して作成しました。パーツを外すだけで何回も作り直しがきくため、子どもたちは、自分の満足がいくものができるまで、夢中になり工作に取り組んでいました。

また、今回は毎年実施しているプラネタリウムの投影に加えて、特別ゲストをお呼びして人形劇も行いました。題材は宮沢賢治作の「銀河鉄道の夜」で、臨場感あふれるBGMと人形たちの演技に子どもたちの目は釘付けでした。



子どもたち作成の迷路



工作会場内の様子



人形劇「銀河鉄道の夜」公演

令和5年度 厚真町文化祭

11月3日(金)、4日(土)の両日、厚真町総合福祉センターと厚南会館を会場として、令和5年度厚真町文化祭が開催されました。

文化団体、サークル、町内の学校、町民の方からの出展による作品の展示、各団体が日ごろの活動成果を発揮する芸能発表会などが行われました。そして、今年度からは感染症対策で自粛していたチャリティーバザーが再開されました。お昼時になると、昼食を食べに来た来場者の方で、さらに、にぎわいを見せました。

当日は約1200の方が来場し、各々芸術の秋を楽しみました。



開会式でのテープカット

令和5年度 児童生徒芸術等鑑賞会

10月31日(火)、厚真中央小学校と厚真中学校を会場として児童生徒芸術等鑑賞会を開催しました。

今年度は、民謡邦楽「れんま」から3人をお呼びし、津軽三味線の演奏や民謡が披露されました。プログラムの一つに、民謡のソーラン節体験コーナーがあり、体育館のステージに入りきらないほど大勢の児童・生徒が参加しました。演奏にあわせて実際に掛け声や踊りを体験することで、会場一丸となつての大盛り上がりを見せました。

今回は、声をだして掛け声やお囃子はやしをするなど、演奏者と一緒に参加していく体験型の内容となっていました。津軽三味線や民謡ならではの文化に触れた子どもたちから「その場でリクエストを聞いての即興弾きがすごかった」「楽しかった!」とたくさんの感想を聞くことが出来ました。



児童と一緒にソーラン節の体験



津軽三味線での曲弾き対決

第59回北海道文化財保護功労者賞 受賞 軽舞熱送り保存会

11月10日（金）に一般財団法人 北海道文化財保護協会による第59回 北海道文化財保護功労者賞授賞式が札幌市「かでの2・7」で開催されました。この功労者賞は北海道内の文化・文化財の保存・保護などに貢献された個人や団体に授与されるものです。

軽舞地区は1896年（明治29年）に富山県西砺波郡福光町から8戸が農業開拓を目的に移住し、その後も富山県からの移住者が増え続けた越中団体の地区です。

熱送りは農業（水稻）に関する伝統行事で、長さ1.5m、直径0.8mの大太鼓を先端が太いバット状の特徴的なバチで雷の音をイメージし打ち鳴らすものです。1903年（明治36年）に開拓移住者の望郷の念とコメの豊作を願い始まり、以後、毎年7月に行われ、今年で120年が経ちます。また、1973年（昭和48年）には厚真町の文化財にも指定され、翌年からあつま田舎まつりでも披露されています。授賞式では、北島誠視会長が「120年間、米どころ厚真の伝統文化行事として受け継いできた地域の誇りであり、軽舞熱送りを中心とした地域の団結力、助け合いの源として伝えたい」と挨拶されました。



昭和61年 さくら保育所(軽舞)での熱送り



田舎まつり本祭ステージでの披露



授賞式での北島さん(中央)と桐木さん(左)

令和5年度 厚真町教育委員会表彰式 開催

10月31日（火）、総合福祉センターで厚真町教育委員会表彰式が行われました。

今年の受賞者は、平成14年から現在まで長きにわたり、加盟団体や自治会等のスポーツ活動支援、優秀な成績を収めた競技者の表彰などにご尽力いただいた厚真町体育協会会長で、豊丘在住の吉岡茂樹さんです。

表彰式では、厚真町教育委員会の遠藤秀明教育長から「今年は、新型コロナウイルス感染症拡大で、延期になっていた第20回集まりオリンピック記念大会を体育協会をはじめとする各団体や町民の皆さんのご協力で多くの方に参加いただいた。今後も吉岡会長には厚真町のスポーツ振興に対するご支援を引き続きお願いしたい」と挨拶がありました。

令和5年度 厚真町教育委員会表彰式



令和5年度二十歳のつどい開催について

今年度も下記のとおり、二十歳のつどいを開催します。対象者へは11月中旬に案内を送付していますので、ご確認をお願いします。

【令和5年度第2回二十歳のつどい】

日時 令和6年1月7日（日）10時30分～12時00分

場所 厚真町総合福祉センター

対象 平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれ、本人または保護者が本町に在住している方

※以前厚真町に在住していた方で、参加を希望する場合は、教育委員会までご相談ください。



昨年度の二十歳のつどいの様子

【問合せ】教育委員会社会教育グループ 電話 0145-27-2495

令和5年度 全国学力・学習状況調査 結果公表

これからの未来に求められる資質・能力の育成を目指して

11月、厚真町教育委員会より「令和5年度全国学力・学習状況調査」に関わる結果を町のホームページに掲載しました。小学校第6学年は国語・算数、中学校第3学年は国語・数学・英語が実施され、厚真町の子どもたちの結果は次のとおりでした。

【小学校第6学年】

	国語	算数
厚真町	69	61
北海道（公立）	66	61
全国（公立）	67.2	62.5

【中学校第3学年】

	国語	数学	英語
厚真町	75	56	46
北海道（公立）	69	49	44
全国（公立）	69.8	51	45.6

※数値は「平均正答率」であり、「%」を表しています

本町では、平成31年度から小中一貫教育に取り組んでおり、4小・中学校が統一した「厚真スタイル」の授業を通して子どもたちの主体性・協調性を育み、「厚真の未来を語る子」の育成を目指しています。令和3年1月の中央教育審議会による答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指してに示されているとおり、予測困難な時代である今、「自立した学習者」の育成が求められています。本町の子どもたちは、すべての教科において全国と比べ「**ほぼ同様に高い**」という結果でしたが、これまで以上に一人一人を見つめ、探究的な学びを推進し、これからの未来に求められる資質・能力の育成を目指してまいります。地域の皆さんには、ふるさと教育をはじめ、多大なるご協力をいただいておりますことに感謝いたしております。これからも、本町の子どもたちのためにお力添えをいただきますようお願いいたします。

「令和5年度全国学力・学習状況調査」の詳細な内容については、右図のQRコードからアクセス可能な厚真町のホームページで確認できます。ぜひ、ご覧ください。



厚真町ホームページ

10月定例教育委員会

10月31日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

令和5年度小学校プール利用の実績について／
 鵜川漁協厚真支所ホッキ部会から学校給食センターにホッキ貝 230kg の寄贈／JAとまこまい広域農協から学校給食センターに新米「ななつぼし」50kg の寄贈／10月定例校長・教頭会議について／イナウ製作体験／カムイノミ・イチャルパ／第23回健康ふれあいマラソン大会／厚真町津波堆積物等見学会／放課後子ども教室特別教室「染物体験教室」／ディスカバリーカルチャー／第1回二十歳のつどい実行委員会

◆議案

厚真町立学校職員ストレスチェック実施規定の制定について／教育委員会事務局職員の人事について

◆その他

令和5年度教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会の日程調整について

★問合せ

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

図書室だより



あなたの1冊教えてください

答えてくれた人

厚真高校2年生 加藤迅さん

10月31日から11月2日まで、厚真高校2年生が図書室で職場体験を行いました。そして、仕事の合間に加藤迅さんが好きな本について教えてくださいました。

Q: おすすめの本を教えてください

加藤さん: 辻村深月さんの「かがみの孤城」です。中学生の時に出会い、今でも大好きな1冊です。

Q: その本と出会ったきっかけを教えてください

加藤さん: 中学生の友達が貸してくれました。読んでみるととても面白く、みんなに勧めたくて苫小牧市の移動図書車や学校図書室においてほしいとお願いした

くらいです。自分にも買ってほしいと母に頼みました。

Q: どんな所にはまりましたか?

加藤さん: 伏線のちりばめ方と、その回収がとても上手だと思いました。いじめや不登校など現実の問題も交えつつ、鏡の世界の子どもと仲良くなっていくところが中学生だった自分の状況に重なりました。

Q: 映画はみましたか?

加藤さん: 残念ながらみられませんでした。

Q: 辻村さんの他の本は読んでみましたか?

加藤さん: 何冊か読んでみましたが、かがみの孤城ほどはまりませんでした。この本だけが特別だと思います。

Q: 厚真町の皆さんにおすすめしてください

加藤さん: いじめ、不登校を題材にした本ではありませんが、ストーリーが楽しい本なので、同年代の人はもちろん、色々な世代の人に読んでほしいと思います。

和綴(わと)じ体験会 開催

11月3日の図書フェスティバルで和綴じ体験会を開催しました。今回は四ツ目綴じという和綴じの基本の縫い方でした。四つの穴を順番通りにかがるのが大変でしたが、参加して下さった皆さんで楽しく作ることができました。今回は画用紙でしたが、和紙で作ると和本に近い雰囲気ができます。綴じ方の本は図書室にありますので、興味がある方は挑戦してください。

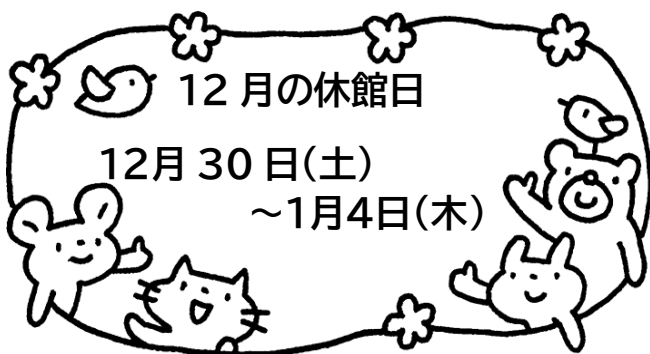
2023年は何を読んだかな?

読書記録帳発行申込受け付けます

2023年1月から12月までの厚真町公民館図書室での図書貸出記録を冊子にしてお渡しします。ご希望の方は、カウンターまでお申し込みください。

申込期間 12月1日(金)~22日(金)

申込場所 青少年センター 図書室カウンター



■青少年センター図書室開館時間

9時00分~17時00分(月・水・金・土・日)

9時00分~19時00分(火・木)

※祝日、年末年始は休館となります。

■厚南会館図書室

9時00分~17時00分(月~日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

12月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、
14日(木) 10時00分から10時30分まで
場所: 青少年センター絵本コーナー クリスマス会です

☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

子どもたちがスケート靴を手に帰ってきました。成長期の子どもたちは、靴のサイズも1年を待たず、あっという間に変わってしまうため、学校でレンタルできるスケート靴があるそうですね。冬の訪れを告げる初雪の便りは、例年より遅く、今年の冬は暖冬との予想もされていますが、果たしてどうなるのでしょうか。子どもたちには寒さに負けず、借りたスケート靴をたくさん使って、冬のスポーツも楽しんでもらいたいです。

秋といえば、食欲の秋、芸術の秋と色々な楽しみがありますが、子ども教室ではスポーツの秋を楽しみました。高学年の活動では、子どもたちからのリクエストが多いバスケットボールやミニバレーを、低学年ではティーボールやなわとびを使ったレクリエーションゲームを行いました。最近では、町内で男子バレーボールの少年団が作られたり、近隣地域と合同でバスケットボールを習っていたり、子どもたちが球技に触れる機会が増えているようです。集団スポーツの面白さを体感できる良いきっかけになっているのではないのでしょうか。子ども教室では、各種競技の経験のあるなしに関わらず、チームで協力すること、たくさん体を動かして楽しむことを第一義に考え、ルールも子どもたちに合わせて難易度を変えています。ときに白熱しすぎてケンカになることもありますが、これも真剣にゲームに挑んでいるからこそ。最後はノーサイド（互いの健闘をたたえ合うこと）を呼びかけて、気持ちを切り替えるようにしています。

この時期は落ち葉遊びが楽しい季節。ポカポカ陽気の気持ちの良い午後、せっかくだからちょっとお散歩に行こう！と子どもたちを誘って、落ち葉遊びをしに外へ出かけました。最初は外遊びに行くことに乗り気ではなかった子どもたちも、地面を覆うたくさんの落ち葉を前にすると、集めてベッドをつくり、寝転がって遊び始めます。両手いっぱい落ち葉を抱え、せーの！のかけ声で頭上に放ると、紅葉した色とりどりの葉っぱがヒラヒラと宙を舞い、シャワーのように降り注ぎました。落ち葉シャワーを浴びるたび、子どもたちから楽しげな歓声があがります。心ゆくまで落ち葉遊びを堪能した子どもたちが道を行くと、その足跡をたどるように、1つ2つと足元に落ちている葉っぱもまた可愛らしく感じられました。

